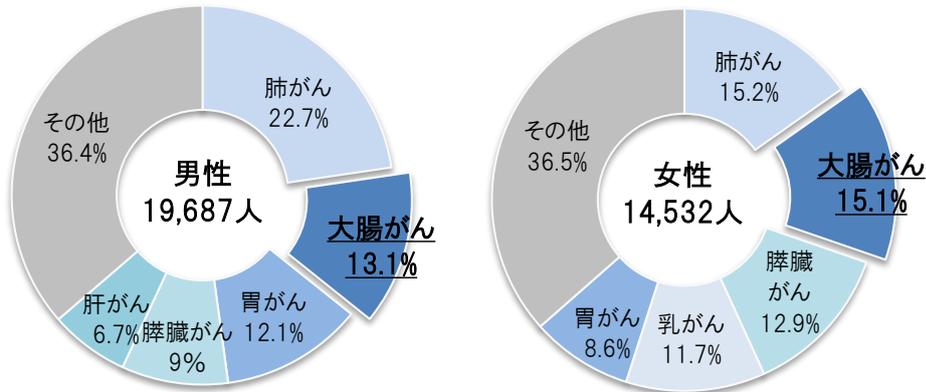


参考 大腸がんについて

★大腸がんはがん死亡原因の上位を占めます

都民のがん死亡者数を部位別に多い順から見ると、大腸がんは男女ともに第2位となります。



出典：東京都福祉保健局「人口動態統計」(令和2年)



東京都がん検診啓発キャラクター「モシカモ」くん

★運動習慣が大腸がんのリスクを減らします

がんの予防には、生活習慣を見直すことが効果的です。

とりわけ運動などの身体活動が、大腸がんになる確率を減らすことが科学的に証明されています^{※1}。

※1 科学的根拠に基づいた「日本人のためのがん予防法」(国立がん研究センター)

★早期発見により高い確率で治療が可能です

大腸がんを、早期発見・早期治療した場合の5年相対生存率は98.8%^{※2}です。

早期の大腸がんは自覚症状がないため、毎年1回、大腸がん検診を受診することが大切です。

※2 公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計 2022」

5年相対生存率とは

あるがんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標です。

100%に近いほど治療で生命を救えるがん、0%に近いほど治療で生命を救い難いがんであることを意味します。

(出典：国立がん研究センターがん情報サービス)

★大腸がん検診とは？

- ・40歳以上が対象です。
- ・便を採取するだけの便潜血検査(便中の微量の血液を調べる検査)なので、大変簡単で、体への負担もありません。
- ・この検査は、大腸がんによる死亡率を下げる効果が証明されています。
- ・大腸がん検診はお住まいの区市町村、職場[※]や人間ドックでも受けることができます。
※実施の有無については、各職場にご確認ください。
- ・区市町村によっては、検診費用の一部を区市町村が負担している場合もありますので、お住まいの区市町村のがん検診担当部署へご確認ください。

区市町村のがん検診担当部署一覧(「とうきょう健康ステーション」より)

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/contact/>

